

第9回世界健康首都会議 実施報告書

第9回 **世界健康首都会議**

2019
10.16 (水) 13:20~
17 (木) 10:00~



テーマ 「食」と「運動」～ 健やかに みんなで つながる ～

会場 松本市中央公民館(Mウイング)

基調講演 1

スポーツが変わる。
未来を創る。



スポーツ庁長官
鈴木 大地 氏

基調講演 2

アクティブ・シェア・コネクト
～高齢者の社会的孤立を防ぐ取組み～



カナダ プリティッシュコロンビア州
サーニッチ地区議会議員
ジューディ・ブラウノフ 氏

基調講演 3

ロシアの健康増進政策
～理論から実践へ～



ロシア科学アカデミー経済研究所
社会科学分野経済理論センター長
タチヤナ・チュバーロフ 氏

入場無料
申込不要
同時通訳

パネルディスカッション
コーディネーター
福二葉総合研究所 理事長
小宮山 宏 氏

各種健康セミナー
健康・食・運動・ものづくりに
関する展示・販売ブース

and more!

主催 世界健康首都会議実行委員会、(一財)自治総合センター 後援 松本市、厚生労働省、経済産業省、スポーツ庁、長野県
お問い合わせ 実行委員会事務局(松本市 商工観光部 健康産業・企業立地課) ☎ 0263-34-3296



世界健康首都会議実行委員会

目 次

実施概要	1
令和元年（2019年）10月16日	
開会式	1
基調講演 1 「スポーツが変える。未来を創る。」	2
基調講演 2 「アクティブ - シェア - コネクト ～ 高齢者の社会的孤立を防ぐ取組み～」	3
基調講演 3 「ロシアの政治・社会状況と日露関係」 「ロシアの健康増進政策 ～理論から実践へ～」	4
一般財団法人松本ヘルス・ラボ「スマイル山雅健康運動教室」	5
長野県次世代ヘルスケア産業協議会 「プロスポーツチームによる地域の健康づくり活動の未来を考える」	5
信州メディビトネット×長野県健康福祉部 「フレイル」ってなんだろう？～老化に負けないための新キーワード！～ & 理学療法士が教えるフレイル予防体操	6
松本市健康づくり課「一瞬で魅力的に見える立ち方、歩き方」	6
一般社団法人腸活環境育成協会「腸の健康を高める水分の摂り方」	7

令和元年（2019年）10月17日

AXEREA 株式会社による 松本工業高校生向け特別授業.....	8
「腸内細菌を通した健康づくり ～松本市における実証実験～」.....	8
「超人スポーツによる共創社会の実現」.....	9
「丸井グループのウェルネス経営 ～社員の「やりたい」を叶える健康経営～」.....	9
松本市健康づくり推進員連合会	
「簡単お気軽ヨガ やさしい季節の折り紙“風船うさぎ”」.....	10
松本市食生活改善推進協議会	
「料理教室 凍り豆腐の新しい活用方法を学びませんか？(パート)」..	10
松本地域健康産業推進協議会「健康先進都市ゼミナール」.....	11
松本ヘルス・ラボ「最新の骨折予防対策」.....	11
松本大学・キューピー株式会社	
「シニアから学ぶ、シニアが学ぶ ～食と健康～」.....	12
木質外被研究開発プラットフォーム	
「私たちに必要な健康長寿のための住まい」.....	12
株式会社中島屋降籾米穀・東洋ライス株式会社	
「プロスポーツ選手も愛用する金芽米の話」.....	13
松本市健康づくり課「健康寿命延伸につながる食事・食環境とは」.....	13
信州メディカル産業振興会×信州リビング・ラボ	
「ユーザーと共に創りあげる「使いやすさ」と生活者視点 ～つくば型リビングラボ・みんなラボの挑戦～」.....	14
パネルディスカッション	
「食」と「運動」～健やかにみんなでつながる～.....	15
閉会式.....	17
ブース出展内容一覧.....	18

実施概要

期 間 令和元年（2019年）10月16日（水）・17日（木）

会 場 中央公民館（Mウイング）、中央体育館

参加者 約1,900人

令和元年（2019年）10月16日（水）

13:30～14:10【ホール】

開会式

挨拶 菅谷 昭 実行委員会会長(松本市長、松本地域健康産業推進協議会長)
住吉 廣行 氏 松本地域健康産業推進協議会副会長(松本大学学長)
林 宏行 氏 長野県産業労働部長(来賓)
仁賀 建夫 氏 経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業研究官(来賓)
相原 允一 氏 厚生労働省健康局健康課課長補佐(来賓)



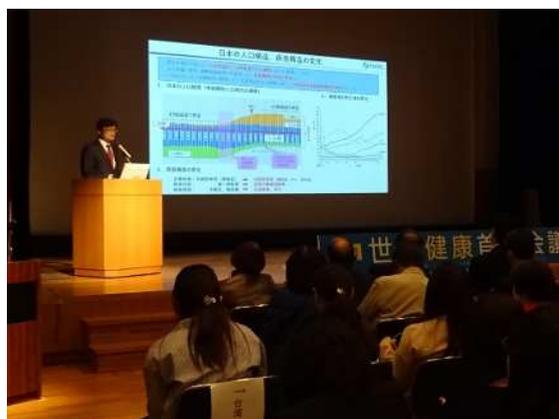
実行委員会会長挨拶



来賓挨拶（長野県）



来賓挨拶（厚生労働省）



来賓挨拶（経済産業省）

14:10～14:40【ホール】

基調講演1「スポーツが変える。未来を創る。」

スポーツ庁長官 鈴木 大地 氏



鈴木長官講演



ホール内の様子



ホワイエ聴講スペースの様子

講演概要

- ・成人の週1回以上スポーツ実施率は、現在55%。目標は65%
- ・運動不足が原因で年間5万人が死亡。
“Exercise is Medicine”(薬を飲む代わりにスポーツを通じて健康に)
- ・スポーツ市場規模は現在5.5兆円で、2025年に15兆円を目標にしている。
- ・「スポーツ・イン・ライフ プロジェクト」。来年開催の東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、国民の生活の中にスポーツのムーブメントを起こしたい。
- ・スポーツが持つ機能として、地域への社会的効果とともに、経済効果を創出することにも注目。国民がスポーツを通じて、健康で、社会(コミュニティ・経済)により、世界とも“つながる”活力ある社会をめざす。

14:50～15:50【ホール】

基調講演2「アクティブ・シェア・コネクト

～高齢者の社会的孤立を防ぐ取組み～」

カナダ ブリティッシュコロンビア州 サーニッチ地区議会 議員

ジュディ・ブラウノフ 氏



講演概要

- ・カナダ サーニッチ地区は、60歳以上が3割、75歳以上が9%を超え、高齢化が現実的な課題。とりわけ、高齢者の孤立を防ぐことの重要性を認識
- ・クリエイティブエイジング（何歳になっても、成長し、学び、貢献できる）
- ・行政に働きかけ、小学校の未利用スペースを活用し、高齢者（特に男性）向けスポーツジムやキッチンスペースを開設。野菜・果物の生産と配布、食事、話す・相談するなどサービスの必要な人に機会を提供。運営もボランティアが携わり、自らのスキルの活用場ともなっている。
- ・社会的孤立を防ぐため、行政と連携して対象者を洗い出すなどの仕組みがあり、更に地域の防災活動にも発展させるなど、地域全体を支える仕組みとして発展させていく意向

16:10 ~ 17:20 【ホール】

基調講演 3

「ロシアの政治・社会状況と日露関係」

モスクワ国際関係大学 教授・東洋学科長 ドミトリー・ストレリツォフ 氏



「ロシアの健康増進政策 ~理論から実践へ~」

ロシア科学アカデミー経済研究所 社会分野経済理論センター長

タチヤナ・チュバーロワ 氏



講演概要

- ・ロシアの課題は、高齢化、高い死亡率（特に労働年齢の男性の死亡率が高い）、非感染性疾患（生活習慣病等）の増加、運動不足、健康格差等
- ・健康的な生活習慣形成のために、優先度の高いプロジェクトが開始。2025年までに60%の国民が健康的な生活を営み、45%が運動に取り組み、喫煙者は27%まで減らし、アルコール摂取量は8リットル/年まで減らすのが目標
- ・たばこについては、喫煙場所の規制、販売の制限、広告の禁止等を実施。さらに厳しい規制も検討中
- ・健康増進政策を立案する際に難しいのは、どのように評価するか、誰が責任を持つか（保健省だけでなく他省庁も責任を持つべき）、どのように地域社会の協力を得るか、どのように個人の動機づけをして習慣化するか等である。

14:30～15:00 / 15:30～16:00【レクリエーション室】

参加者延べ50人

一般財団法人松本ヘルス・ラボ「スマイル山雅健康運動教室」



松本山雅 FC ホームタウン担当の片山真人氏も参加し、タオルマフラーやボールを使用した簡単なストレッチや頭と体を使ったゲームを行った後、小林美穂先生の指導のもと、音楽に合わせて椅子に座りながらの運動などを行った。

14:30～17:00【4-3会議室】参加者27人

長野県次世代ヘルスケア産業協議会

「プロスポーツチームによる地域の健康づくり活動の未来を考える」



株式会社松本山雅と NPO 法人熟年体育大学リサーチセンターによる実践的な事例を紹介した後、参加者を4グループに分け「“歩く”ことから地域の健康をつくるプロジェクト」をより良いものにするための意見交換会を実施した。

15:00～16:00【3-1会議室】参加者51人

信州メディビトネット×長野県健康福祉部

「フレイル」ってなんだろう？～老化に負けないための新キーワード！～

&理学療法士が教えるフレイル予防体操

信州メディビトネット 代表・内科医師 小手川 直史 氏

理学療法士 山田 里美 氏



「フレイル」とは、健康な状態と介護が必要な状態の中間の状態を指す言葉で、フレイル対策の3大要素である「栄養」「運動」「社会活動」について解説を行い、自分の足の筋力を確認する指輪つかテストを実際に参加者と行った。

「フレイル体操」を含めた予防法などを伝えることで、要介護状態の予防や健康寿命延伸につなげるべく開催した。

16:00～17:00【3-2会議室】参加者45人

松本市健康づくり課「一瞬で魅力的に見える立ち方、歩き方」

デューク更家公認ウォーキングスタイリスト 松藤 エミリ 氏

台風19号の影響により、講師が変更となりました。



人生100年時代、死ぬまで自分の足で歩き、人生を楽しむためには、ただ歩くだけでなくエクササイズも取り入れるなど、ちょっとした工夫で楽しく運動できる。今回のセミナーでは、ウォーミングアップ（肩回し、腕のばしねじり、良い姿勢のキープ）と、腿の内側・おしりをしっかり使う運動、ウォーキングを行った。

16:10～17:10【4-4会議室】参加者69人

一般社団法人腸活環境育成協会

「腸の健康を高める水分の摂り方」

一般社団法人腸活環境育成協会 代表理事 神谷 陽子 氏



便秘や軟便などの腸トラブルにおける水分補給方法などについて講演を行った。

令和元年（2019年）10月17日（木）

9：00～10：00【体育館】

AXERIAL 株式会社による 松本工業高校生向け特別授業



10：00～10：30【ホール】

「腸内細菌を通じた健康づくり ～松本市における実証実験～」

富士フィルム株式会社 R&D 統括本部

バイオサイエンス&エンジニアリング研究所 小田 由里子 氏



信州大学医学部 教授 野見山 哲生 氏



昨年度、松本ヘルス・ラボと連携して実施した、サラシア摂取による便臭・便性に対する効果の実証試験について、結果報告を行った。

11:00～12:00【ホール】

「超人スポーツによる共創社会の実現」

AXEREAAL 株式会社 代表取締役社長

一般社団法人超人スポーツ協会 ディレクター 安藤 良一 氏



「超人スポーツ」の活動の一環として生まれた「スライドリフト」を実演し、技術の力を使えば、身体的な障害や加齢など、これまで障壁だったものから解放され、フラットな状態で一緒に遊ぶことができると紹介。

超人スポーツには、「共創社会の実現」「新たな産業の創出」「誰もが楽しめる日常の提供」「多様性社会の実現」「加齢＝獲得するもの」「新たな表現の創出」という社会的価値が実現できる可能性がある」と講演した。

13:00～13:30【ホール】

「丸井グループのウェルネス経営 ～社員の「やりたい」を叶える健康経営～」

株式会社丸井グループ 執行役員 健康推進部長 専属産業医 小島 玲子 氏



丸井グループは、健康経営を「ウェルネス経営」と呼び、病気の予防だけでなく、社員が活力に満ち、能力を最大限に発揮でき、そのことをもって社会の活力にも貢献する、インクルーシブな健康経営、企業活動としての健康経営をめざしている。

全社員を対象に手挙げ方式で中心メンバーを公募し「ウェルネス経営推進プロジェクト」を行うことにより、自発的に取り組む文化が醸成され、グループ全体の活性化につながっており、現れてきた効果についても発表した。

10:00～11:30 / 14:00～15:30【レクリエーション室】

参加者延べ29人

松本市健康づくり推進員連合会

「簡単お気軽ヨガ やさしい季節の折り紙“風船うさぎ”」



健康づくり推進員連合会副会長の野村千恵子氏が講師を務め、折り紙で指先や脳を使い健康づくりにつなげるとともに、秋本雅代氏が講師となり、気軽にヨガを体験して体を動かすことの気持ち良さを感じ、きっかけづくりとする活動を行った。

その他、パネル展示などによる健康づくり推進員活動の紹介や、10月の「市民歩こう運動」推進強化月間に合わせ、連合会で作成した松本市ウォーキングマップ一覧を掲示し啓発を行った。

10:00～13:00【料理実習室】参加者33人

松本市食生活改善推進協議会

「料理教室 凍り豆腐の新しい活用方法を学びませんか？（パートⅠ）」

旭松食品株式会社 商品設計2課 課長 佐々木 裕 氏

旭松食品株式会社 調理師・栄養士 林 潤子 氏

松本市食生活改善推進協議会 会長 太田 充子 氏



旭松食品による凍り豆腐料理3品（高野豆腐とエビのフリカッセ、粉豆腐とヨーグルトの蒸しケーキ、高野豆腐と長芋の焼き物）と、食生活改善推進協議会おすすめ料理2品（ピーマンの塩昆布和え、具たくさんピリ辛みそ汁）を調理、試食した。

10:00～11:00【4-4会議室】参加者22人

松本地域健康産業推進協議会「健康先進都市ゼミナール」

～からだの声、正しく聞けていますか？

おいしく楽しく自然な栄養マネジメント～

都市計画家・健康先進都市ゼミナールコーディネーター 倉澤 聡 氏

管理栄養士・健康運動指導士 沖本 玲子 氏



倉澤聡氏から、健康先進都市ゼミナールにおけるこれまでの経過等について説明を行い、沖本玲子氏から、食と健康に対する栄養学の視点について解説した後、「おいしく楽しく自然な栄養マネジメント」について2人による対談を行った。

10:00～10:50【3-2会議室】参加者33人

松本ヘルス・ラボ「最新の骨折予防対策」

信州大学医学部附属病院整形外科 講師 中村 幸男 氏



骨折予防に有効な生活（食事や運動）や、骨の形成に必要な食事の摂り方について講演を行った。

11:30～12:30【3-2会議室】参加者33人

松本大学・キューピー株式会社

「シニアから学ぶ、シニアが学ぶ ～食と健康～」

松本大学大学院 健康科学研究科 教授 廣田 直子 氏



松本ヘルス・ラボ会員を対象としてキューピー株式会社と松本大学が実施している栄養調査の目的や内容を含めながら、調査内容にとどまらず、食の大切さ、食生活の注意点などを講演した。

12:30～13:30【4-4会議室】参加者10人

木質外被研究開発プラットフォーム「私たちに必要な健康長寿のための住まい」

信州大学 特任教授(工学部)・名誉教授 高木 直樹 氏



寒冷地である松本市/長野県に住む人が健康長寿でいるために必要な住環境について、高木直樹氏が世界の事例を交えて講演し、関係事業者・団体や一般参加者からの質問にも答えながらパネルディスカッション形式で進行した。

13:00～13:40【4-3会議室】参加者11人

株式会社中島屋降籐米穀・東洋ライス株式会社

「プロスポーツ選手も愛用する金芽米の話」

株式会社中島屋降籐米穀 代表取締役社長 降籐 一路 氏

東洋ライス株式会社 ヘルスケア課 課長 西山 直希 氏



金芽米の歴史、利点、効能について講演を行った。

14:00～15:30【3-2会議室】参加者75人

松本市健康づくり課「健康寿命延伸につながる食事・食環境とは」

女子栄養大学 栄養学部 教授 武見 ゆかり 氏



松本市の健康寿命が緩やかに上昇している現状を説明するとともに、生活習慣病予防やフレイル予防のために必要な、適正な量と質の食事を実践するためには、松本市が推奨する「1日2食は3皿運動」が有効と説明した。

また、外食や中食を利用する人はそうでない人に比べ栄養バランスが悪いことが分かっているが、飲食店におけるカロリー表示など、情報へのアクセスだけを改善する表層的な食環境整備は、健康格差を広げる可能性があり、情報だけでなく健康的な食事へのアクセスを良くすることが必要である。栄養バランスの取れた食事を、継続的に健康的な環境で提供する飲食店や事業所を認証する「スマートミール認証制度」等を活用し、健康な食事を推進することが健康寿命を延ばすカギとなると講演した。

14:10～15:40【4-3会議室】参加者26人

信州メディカル産業振興会×信州リビング・ラボ

「ユーザーと共に創りあげる「使いやすさ」と生活者視点

～つくば型リビングラボ・みんなラボの挑戦～」

みんなの使いやすさラボ（みんなラボ）代表者

筑波大学人間系（心理学域）教授 原田 悦子 氏



高齢者（住民）が参加して毎月開催する、さまざまな商品・サービスの「使いやすさ」について徹底的に語り合う「みんなラボカフェ」の取組みと、多様なモノの使いやすさ検証実験について、事例を交えながら紹介した。

その後、松本で始まっている「在宅医療・介護の困った」を解決する「住民参加型の医工連携ものづくりモデル構築」について、実際の活動の説明を行った。

10月17日に開催を予定していた以下のセミナーは、台風19号の影響により中止となりました。

長野県次世代ヘルスケア産業協議会

「ヘルスツーリズムと地域産品のコラボを考える」

13:40 ~ 15:40 【ホール】

パネルディスカッション 「食」と「運動」～健やかに みんなで つながる～

総括コーディネーター

小宮山 宏 氏 株式会社三菱総合研究所 理事長

パネリスト

近藤 克則 氏 千葉大学予防医学センター 教授

小島 玲子 氏 株式会社丸井グループ 執行役員 健康推進部長 専属産業医

美濃部慎也 氏 株式会社ユカシカド 代表取締役

高崎 尚樹 氏 株式会社ルネサンス 取締役専務執行役員



パネルディスカッション概要

「健康に関心がない人にどのように取組みを広げるか」

- ・ 2:6:2 の法則
- ・ イノベーター理論
- ・ 健康の取組みを、福利厚生ではなく企業活動として位置付ける
- ・ 楽しくカッコいい活動にする
- ・ 知らないうちに健康行動を取る仕組みづくり（ステルスケア）
- ・ 歩く人が増えるまちづくり
- ・ モノからコト重視へ（健診のプレゼント等が強制力に）
- ・ 力学関係で人を動かす

「統計値と個人をどう結び付けるか」

- ・ 政策形成には統計データが必要だが、それを個人に見せても他人ごとになる。「自分ごと化」することが重要である
- ・ ダイレクトマーケティング（全体への周知と個人へのアプローチは手法を変える必要がある）
- ・ 地域ごとに運動する人の割合が数パーセント増えれば、介護認定を受ける人が数百人単位で減り、介護給付費の大きな削減につながる

「松本市はこれから何をすべきか」

- ・ 立場の異なる組織が、組織の壁を越えてお互いの強みを出し合い社会的課題の解決を目指すこと（＝コレクティブインパクト）の必要がある
- ・ 松本ヘルス・ラボのような産学官連携のチャレンジは始まっている。実際に循環が始まるところまで突き進むべき
- ・ 「ルール・ベース」ではなく「プリンシプル・ベース」
先進的な企業や行政が成功事例を作り、国を待たずに突き進むことが重要。「自律分散協調系」が理想である
- ・ 新ビジネス、産業を創るためには、スタートアップが続々と出てこなければならぬ
- ・ スタートアップを成長させ事業を加速する仕組み（＝「エコシステム」）が必要。
[エコシステムの主な要素：ベンチャーキャピタル（投資主体）、アクセラレーター（プログラムの提供主体）、インキュベーション（施設の提供主体）]
- ・ 健康を目的にするのではなく、健康になって何をするのか、看板の架け替えを次のステップに
- ・ 対外発信の強化

【キーワード】

- ステルスケア
- 自分ごと化
- 産学官連携、コレクティブインパクト
- エコシステム（スタートアップを支援する仕組み）
- 生きがい、自己実現
- 自律分散協調系

15:40～15:50【ホール】

閉会式

挨拶 杉山 敦 氏 実行委員会副会長（松本市医師会長）

濱田 州博氏 松本地域健康産業推進協議会 副会長（信州大学学長）



ブース出展内容一覧

健康	1	株式会社アルプスピクチャーズ	8ミリフィルム映像を後世に残す！昭和を回想してお年寄りを元気にする！
	2	株式会社安寿の里のりくら福祉用具販売事業部アイ・レーベル	車椅子に頼らず自分の足で歩くようにする歩行訓練機器
	3	大塚製薬株式会社	ボディメンテドリンク & SOYJOY 試食販売会
	4	キッセイコムテック株式会社	姿勢計測システム ShiseiCam による姿勢計測体験
	5	株式会社小林創建	住宅と健康の関係について
	6	株式会社信栄食品	松本の伝統野菜 松本一本ねぎと鶏肉を使ったヘルシーな餃子の試食
	7	信州大学 / 信州メディカル産業振興会	松本発の住民参加型の医工連携ものづくり
	8	信州メディビトネット	未来の子どもたちの健康づくりプロジェクト「信州健康かるた」
	9	株式会社スキノス	心と体の健康状態を簡単に測れる世界初のウェアラブル発汗センサ
	10	株式会社 SPEC	あなたの疾病発病確率を AI で予測します！～カラダノミライ～
	11	SOMPO ひまわり生命保険株式会社	人生100年時代の認知症・生活習慣病に備えるために
	12	株式会社第一興商	生活総合機能改善機器 DK エルダースシステム
	13	台湾・高雄医学大学附属中和記念病院	慢性疾患患者への栄養教育の取り組み
	14	台湾・高雄市立小港病院	「三高」疾病（高血圧、高脂血症、高血糖）への取り組み
	15	株式会社ダイワ	産学官連携による小児向けティースガードの開発
	16	一般社団法人腸活環境育成協会	腸を知り、腸を活かす、実践方法をお伝えします
	17	テスコム電機株式会社 / 有限会社折協市場店	テスコム「真空ミキサー」による実演及び試飲
	18	株式会社デリカ	電動アシスト4輪自転車“けんきゃくん”展示、試乗

	19	株式会社中島屋降籾米穀 / 東洋ライス株式会社	松本ヘルス・ラボ金芽米の試食販売及び健康効果パネル展示
	20	長野県臨床整形外科医会	ロコモティブシンドロームの説明と診断。基本的な体操の指導
	21	一般財団法人奈川振興公社	ふるさと奈川 奈川の食文化を中心に、奈川の暮らしを紹介
	22	株式会社日本トリム 長野営業所	電解水素水整水器 日本トリム
	23	ファミリー・サービス・エイコ-株式会社	オーラルケア関連商品及び靴下等の磁気関連商品の展示・販売
	24	ヘルスグリッド株式会社	生涯健康銀行(心と身体の状態を生涯にわたって維持・改善)
	25	Benry 松本南店	生活支援サービスのご紹介
	26	一般財団法人松本ヘルス・ラボ	松本ヘルス・ラボ会員が参加するモニター事業の紹介
	27	明治安田生命保険相互会社 松本支社	セルフ健康チェック
	28	森永乳業株式会社	森永乳業の機能性素材と健康
	29	株式会社ユカシカド	世界初、尿から栄養の過不足が分かる検査キット「VitaNote」
食	30	旭松食品株式会社	大豆製品の販売とこうや豆腐メニューのレシピの配布をします
	31	キューピー株式会社	キューピーグループはサラダとタマゴで健康長寿を応援します！
	32	ゴールドパック株式会社	信州安曇野トマト、りんご、野菜ジュースなどの展示販売
	33	有限会社大丸本舗	日本の伝統飴菓子とアジアの伝統的健康素材「ニーム」製品の展示と販売
	34	長野県栄養士会中信支部	健康づくりは日ごろの食生活から～見て、知って、体験しよう～
	35	株式会社丸正醸造	信州の農産物を生かした味噌・醤油・ドレッシング等の試食・販売
	36	道の駅 今井恵みの里	地産地消の道の駅 今井恵みの里
	37	南安曇農業高等学校 動物バイオテクノロジーコース	そば甘皮の飼料化をめざした実証実験の展示、鶏肉の燻製製品の試食販売
	38	株式会社吉野家	吉野家のやさしいごはん(ケア食)

	39	松本市健康づくり課	具たくさんみそ汁コンテスト結果発表・レシピの紹介
	40	松本スイーツ	松本スイーツのPR 販売
	41	松本市農政課	松本一本ねぎのブランド化の取組みのPR と販売等
運動	42	伊藤超短波株式会社	家庭用超短波治療器及び EMS で有名な電気刺激装置の体験・販売
	43	株式会社電算	手指運動リハビリテーション支援装置「Te・Ri・Ha」のご紹介
	44	日本電熱株式会社	ながらトレーニング mignoron (ミニヨロン) の展示・販売
	45	松本市スポーツ推進委員協議会	だれでも楽しめる“ ニュースポーツ ” 体験してみませんか！！
	46	株式会社ルネサンス	未来に向けて！すぐにできる『健康づくり』『健康経営』
ものづくり	47	AXERIAL 株式会社	Slide Rift (スライドリフト)
	48	株式会社ディバイザー	生産量日本一 松本市のギター作り
	49	松本工業高等学校	松工生の挑戦
	50	社会福祉法人松本市社会福祉協議会	希望の家・岡田希望の家によるコーヒー、手作り自主製品等の販売
	51	木質外被研究開発プラットフォーム	わたしたちに必要な健康長寿のための住まい
	52	一般財団法人松本ものづくり産業支援センター	11/1 オープン！『サザンガク』のご案内、コーディネーターの活動紹介



以下の 2 団体もブース出展を予定していましたが、台風 19 号の影響により、今回の出展を見合わせました。

- ・障がい者スポーツ支援センター松本（サンスポートまつもと）
- ・松本味噌醤油工業協同組合